
年金の「見える化」Webサイト（仮称） デザイン説明資料

令和3年9月30日
株式会社日立製作所

1. デザイン要件の整理と理解

1.1 趣旨と目的の理解

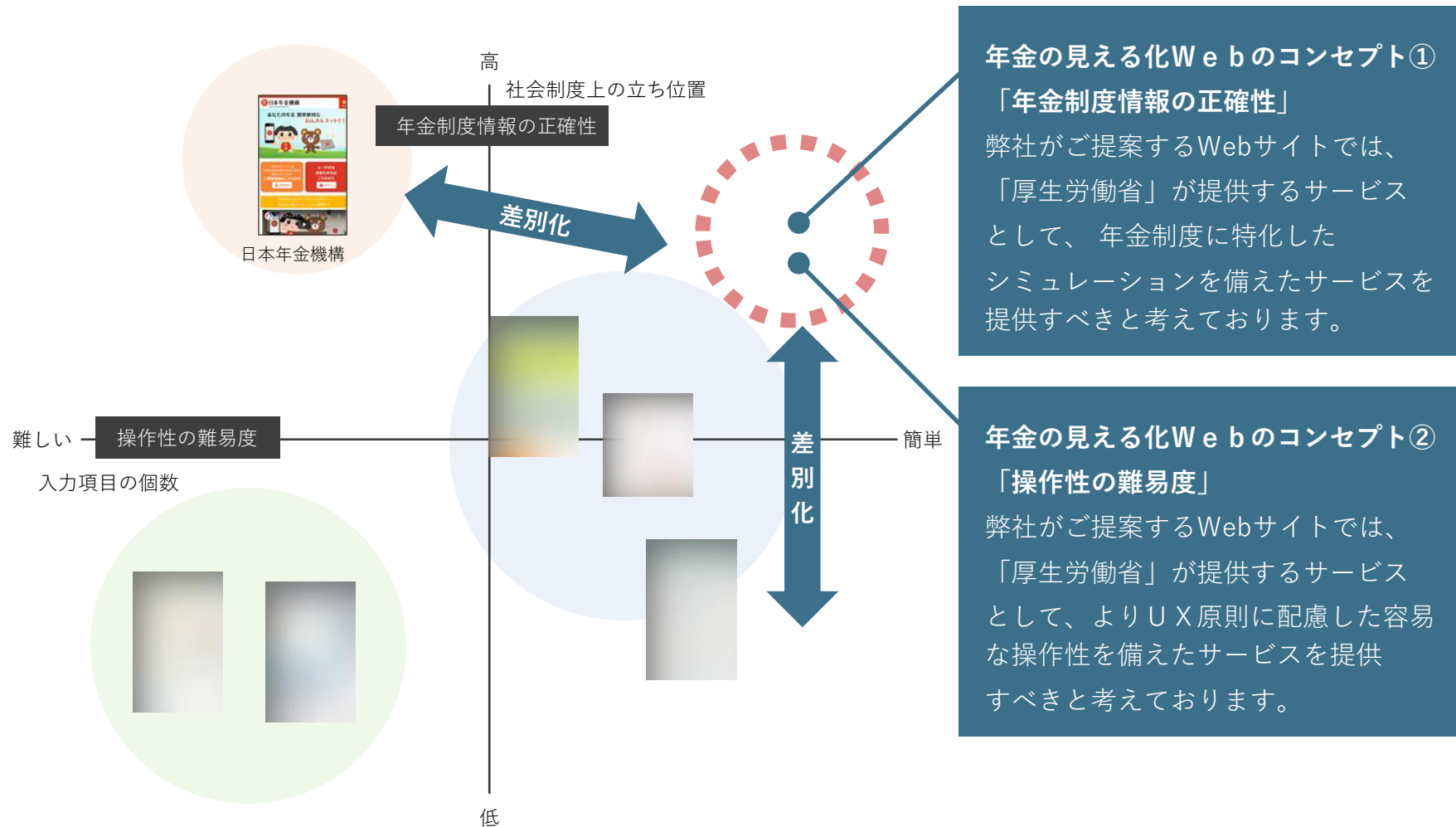
令和 2 年の通常国会において、年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律が成立し、受給開始時期の選択肢の拡大や短時間労働者に対する厚生年金保険の適用拡大等が順次予定されています。

これより、年金制度における様々な選択肢が広がることとなります。

年金の「見える化」W e b は公的年金、私的年金を通じて、個々人の現在の状況と将来の見通しを全体として「見える化」し、老後の生活設計をより具体的にイメージできるようにし、国民の選択をサポートするための広報活動を目的と理解しております。

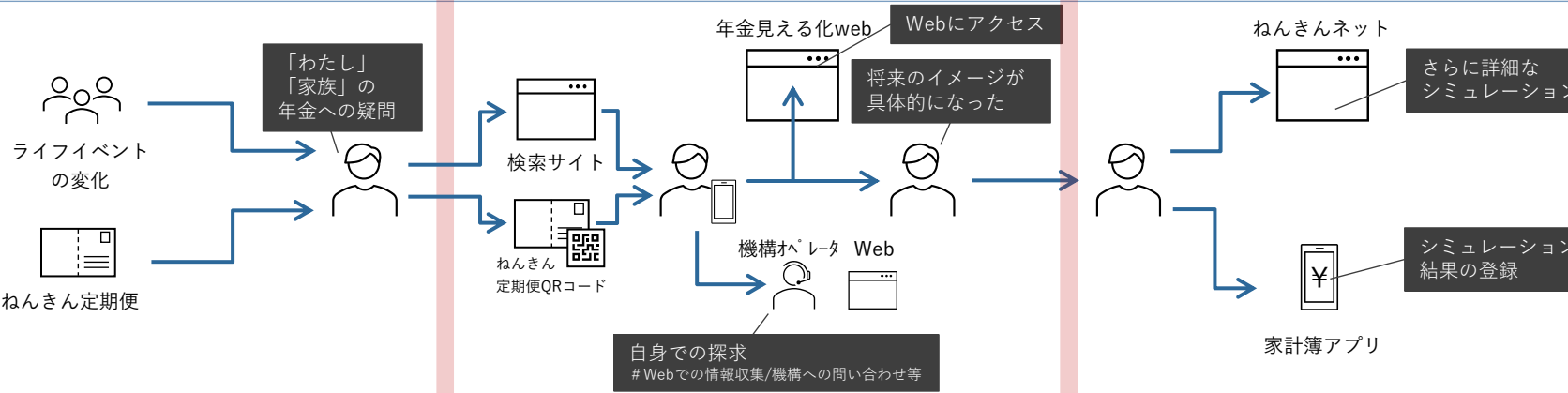
1.2 サイトのポジションの理解と基本コンセプト

年金のシミュレーションサイトは日本年金機構をはじめ、複数の民間事業者によるサービスが提供されています。弊社では、今回ご提案するWebサイト(シミュレーション)の位置づけを整理するために、「年金制度情報の正確性」と「操作性の難易度」を軸にセグメントし、類似サービスを配置しました。



1.3 サイトを起点とする意識の変化(CJM)の理解

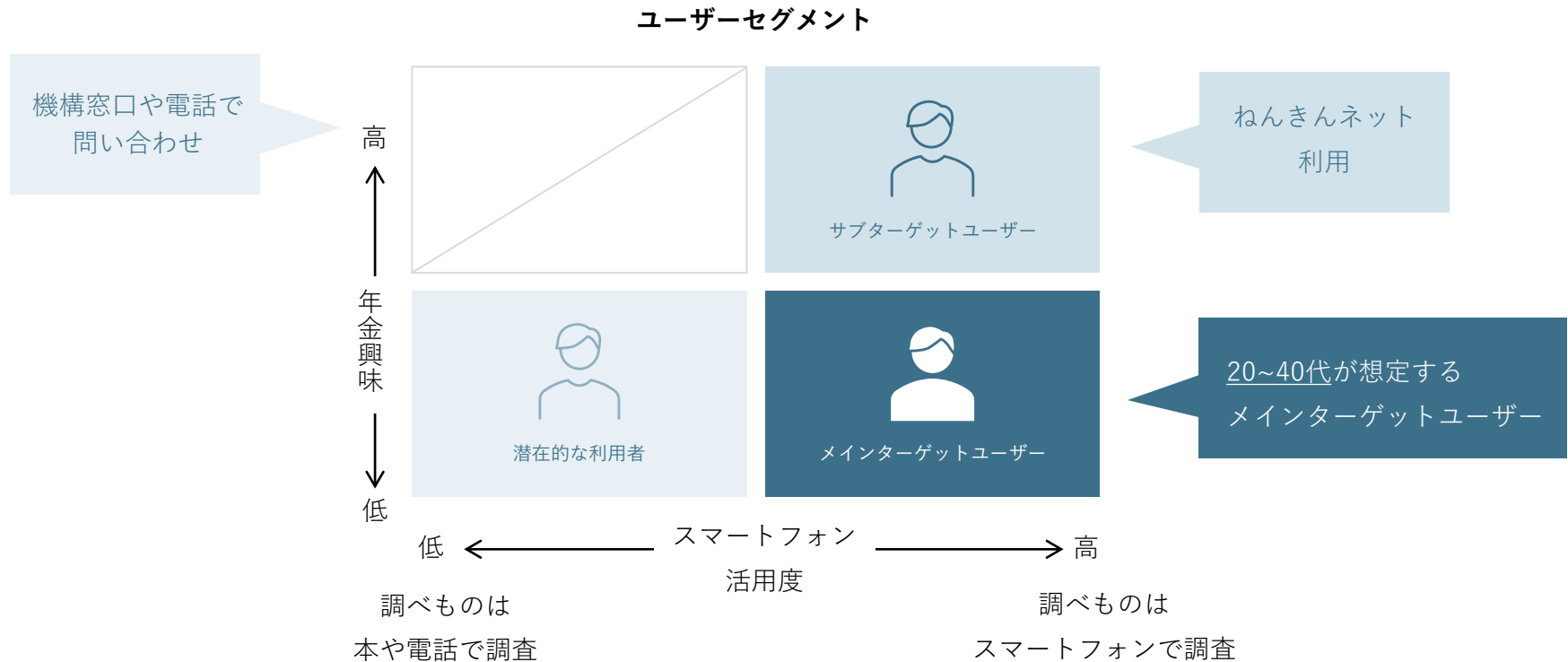
本サイトを通してどのようなユーザーの体験を設計すべきかを以下のカスタマージャーニー（C J M）を前提とします。

Scene	1.認知と疑問 ↑			2.理解と興味関心 ↑	3.更なる理解と行動
Touch Point	Web/ねんきん定期便			スマートフォン(Web)/電話	スマートフォン(Web)/電話等
Action	 「わたし」「家族」の年金への疑問 ライフイベントの変化 ねんきん定期便 検索サイト ねんきん定期便QRコード 年金見える化web Webにアクセス 将来のイメージが具体的に became 機構オペレータ Web 自身での探求 # Webでの情報収集/機構への問い合わせ等 ねんきんネット さらに詳細なシミュレーション シミュレーション結果の登録 家計簿アプリ				
Thinking (Needs)	- ねんきん定期便の見方が分からない - 制度が変わると何に影響するだろう - いくら払っていくらもらえるだろう			- 払ってもあまりもらえない（ネガティブイメージ） - 簡単に利用したい - 視覚的な理解を通じて将来の生活設計を考えたい - 様々な状況を見据えて金額を計算したい	- もう少し正確なシミュレーションをしたい - シミュレーション結果をもとに将来の資産形成に役立てたい - 更なる疑問が沸いたのでもう少し掘り下げたい
Experience	- ねんきん定期便の見方が分かる - 個々人の年金額の視覚化による理解促進 - 見える化Webへのスムーズな誘導と動機付け			- 手間なく効率的に結果を取得 - 働き方、暮らし方を変えることで年金がどう変わるか可視化（シミュレーション）できる - 年金に対するネガティブイメージを払拭	- ねんきんネットへのスムーズな誘導 - シミュレーション結果をもとにした資産形成の指南 - 疑問を解決できる仕掛けの提供
Idea	- 年金理解促進なコンテンツを付加 - 定期便の見方や確認観点の付加 - シミュレーション結果の付加 - 見える化webの紹介			- シンプルな構成 - リアルな計算	- ねんきんネットへの導線の確保 - 経験者談や専門家談のコンテンツ提供 - ねんきんFAQや問い合わせサポートへの導線確保

今回のスコープ

1.4 ユーザーの理解

本Webサイトの想定利用者を“年金興味”と“スマートフォン活用度”を軸にセグメントし、本サービスのターゲットとなる利用者を分析します。



主な利用シーンとして「ねんきん定期便」をトリガーとした検索行動(QRコードの読み取り→web)ができるユーザー及び、検索サイトから本サイトを検索できるユーザーを想定しています。

調べものはスマートフォンを活用、かつ年金に対する興味が低い利用者を考えております。

1.5 利用シーンの整理(サイト訪問のトリガーとなる例)

想定シーン	学生から新社会人  新入社員として働き始める学生 • 20代 • 男性（未婚） • スマートフォンを常に持ち歩き、大抵の調べものはスマートフォンで済ませている • 来年春から社会人となるため、国民年金から厚生年金に加入予定 • 将来、どのくらい年金をもらえるのか気になっている	家庭環境の変化  時短からフルタイム勤務への変更を考えている女性 • 30代 • 女性（既婚） • 小学生と中学生の子供を育て中のワーキングマザー（正社員） • 移動時間はスマートフォンで、SNSやネット通販をしている • 育児が落ち着いてきて、時短勤務からフルタイム勤務への変更を考え始めている • フルタイム勤務で、将来の年金受給額がどう変わるか気にしている	仕事環境の変化  転職（起業）を考えている男性 • 40代 • 男性（既婚） • 会社員 • 夫婦共働きで子供はいない • スマートフォンで情報収集 • 30代から転職を意識し、専門技術を磨いてきた • 起業への思いが強くなり、転職と起業した場合で、将来の年金受給額がどう変わるのか気になっている
提供価値 (ゴール)	「働き方」「暮らし方」を変えることで、年金がどのように変わるか可視化（シミュレーション）し理解する		

2. デザインのご提案

2.1 デザインコンセプトのご提案

“簡単な”シミュレーションの実現

- 入力と結果の内容をインタラクションに表示
- ねんきん定期便からシームレスな遷移
- シンプルな結果表示
- 入力の手間軽減

モバイルファースト

- シンプルなレイアウト
- タップ操作で完結するコントロール
- プログレッシブディスクロージャーの考え方に
基づいた情報表示

Simple
UI

使ってみたくなるデザイン

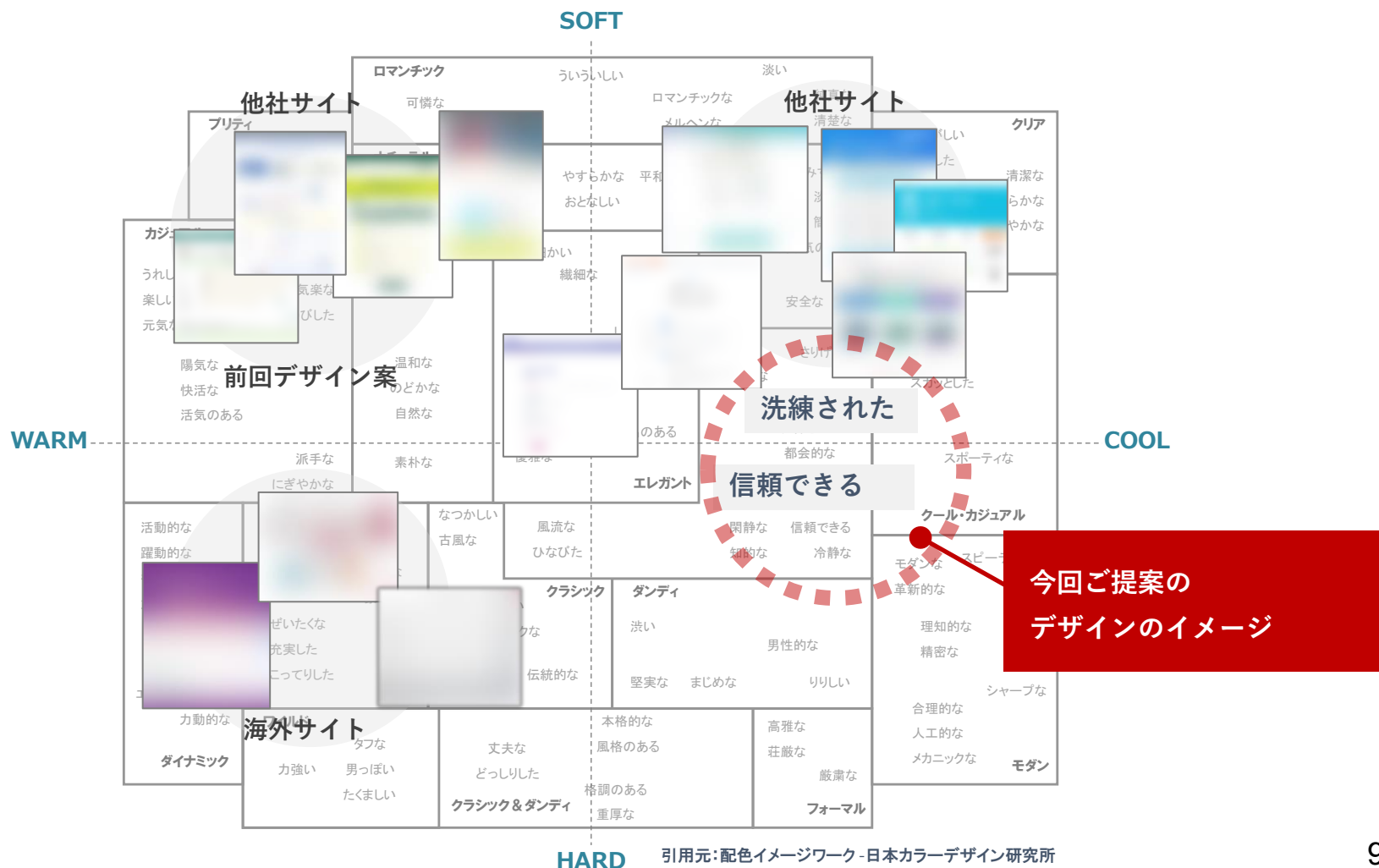
- グラデーションを取り入れた今風なデザイン
- 分かりやすい情報表示
- 直感的な入力操作
- 適切なヘルプ表示

ユニバーサルデザインへの配慮

- Webアクセシビリティへの配慮
- 視認性・可読性の確保
- 色覚特性を持つ利用者への配慮

2.2 ビジュアルデザインの方向性の検討

国内外の類似年金シミュレーションサービスや関係機関のWEBサイトのデザインイメージを以下の通り調査しました。
今回は国の年金制度の広報活動を担うことから「信頼できる」、かつユーザーが気軽に利用し、スタイリッシュなイメージを訴求できるよう「洗練された」イメージのデザインをご提案します。



2.3 デザイン案

コンセプトとビジュアルデザインの方向性を踏まえ、以下のデザイン案をご提案します。



Simple & Usability

配色やレイアウト等、可能な限りシンプルな構成とし、ユーザーがストレスなく、容易なシミュレーションを実施できるイメージを持ってもらえるように検討いたしました。

カラスキームはブルーとグリーンのグラデーションを用い、「洗練された」イメージの訴求を図ることで、世の中に広く公開されるサービスとして存在感を出せるようにしております。

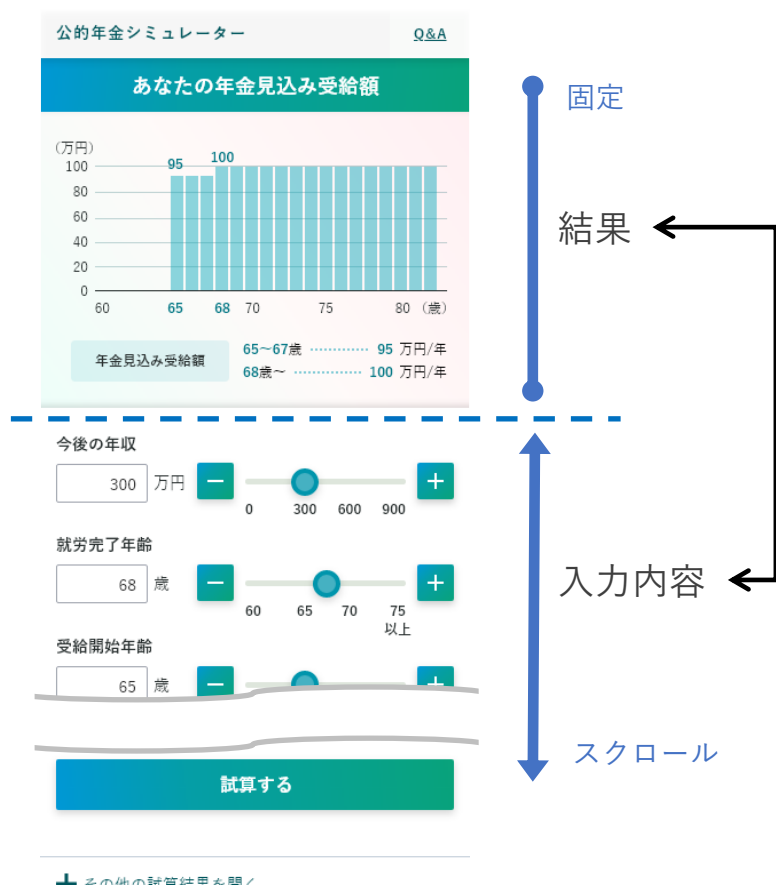


※画面デザインは調整中であり、本検討会後のご意見や今後の開発を踏まえ内容が差し替わる可能性があります。

2.4 デザイン施策

入力内容と結果のインタラクティブな操作

入力内容と結果(グラフ)がインタラクティブに変わること、利用者が将来受け取る年金額のイメージをしやすくなるようにします。



結果を見ながらシミュレーションが可能

結果画面は画面上部に常に表示し、画面下部に試算時の入力内容が反映されるUIとすることで、ユーザーは常に結果を見ながらシミュレーションすることが可能となります。入力内容と結果表示がインタラクティブになることで、より良い洞察(シミュレーション)が可能となります。

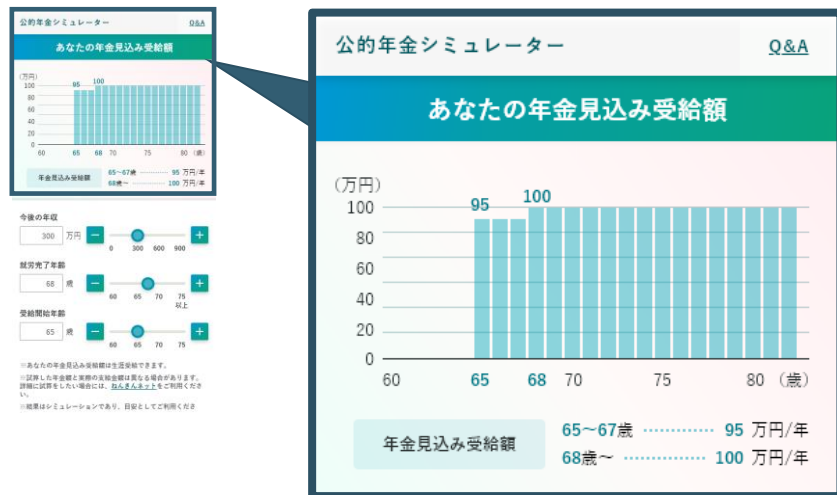
2.4 デザイン施策

シンプルな結果表示

本Webサイトの主旨は年金制度の広い周知と理解しており、シミュレーション結果は詳細な内容よりも容易に理解可能な情報量が良いと考えております。

表示結果は海外のサービスを参考とし、働き方や年齢による「年金受給額の変化」を分かりやすく可視化しております。

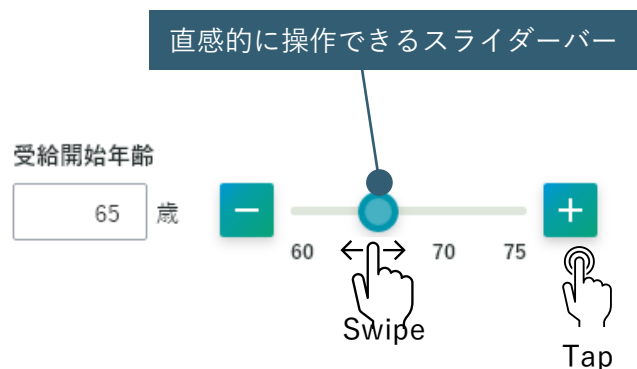
また、年金額が変わる節目の年齢は強調表示とし、意識させるようにしました。



直感的な入力操作

基本の入力項目となる「今後の年収」「就労完了年齢」「受給開始年齢」は、初期値をセットし、入力の手間を省略します。

修正操作のコントロールとして、直感的に入力操作が可能なスライダーバーを設置するとともに、数値の微調整を容易にするテキストボックス、「+」「-」ボタンを配置しました。



2.4 デザイン施策

公的年金シミュレーター Q&A

あなたの年金見込み受給額

(万円)

+ 働き方・暮らし方の入力欄を開く

+ 年金を受け取る年齢の入力欄を開く

試算する

+ その他の試算結果を開く

試算結果の出力

出力形式はCSV形式になります。

📎 試算結果を出力

お問合せ先

Copyright © xxxxxxxxxxxxxxx

公的年金シミュレーター Q&A

あなたの年金見込み受給額

(万円)

働き方・暮らし方の入力

働き方・暮らし方①

働き方・暮らし方 ②

自営業・フリーランス 会社員・公務員

パート・アルバイト (国民年金適用) パート・アルバイト (厚生年金適用)

配偶者の扶養 働いていない

期間

41 歳 ~ 60 歳まで

※期間の上限は69歳です

年収 ②

300 万円

働き方・暮らし方② 削除する

働き方・暮らし方 ②

自営業・フリーランス 会社員・公務員

パート・アルバイト (国民年金適用) パート・アルバイト (厚生年金適用)

配偶者の扶養 働いていない

期間

60 歳 ~ 68 歳まで

※期間の上限は69歳です

付加納付の有無 ②

有 無

+ 働き方・暮らしの追加

年金を受け取る年齢の入力欄を開じる

段階的な情報表示

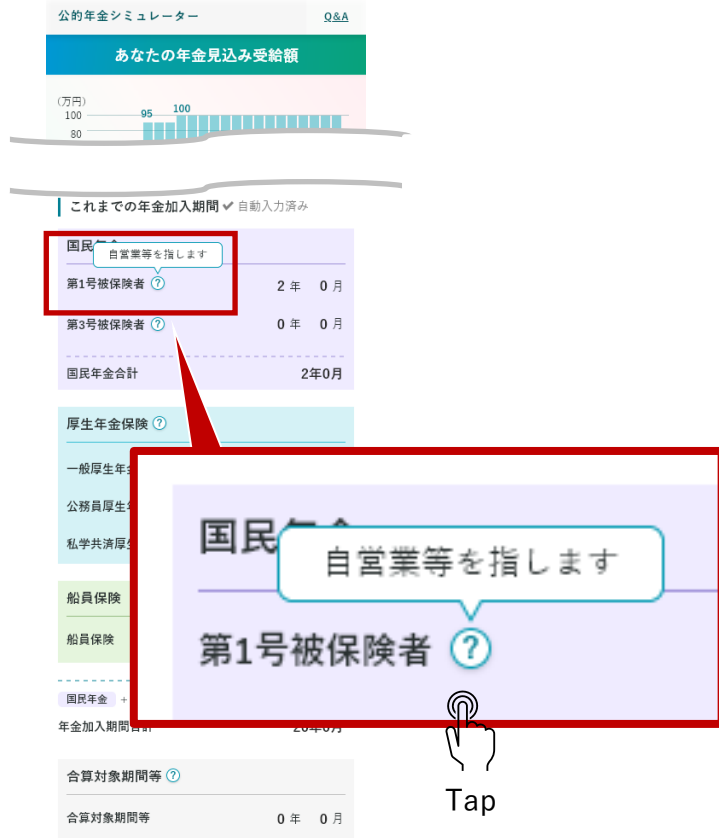
モバイル機器の画面は小さく、一度に多くの情報量を詰め込むのは得策ではありません。初期は少ない情報量から、**段階的にオプションを表示**することでシンプルに、そして確実に必要な情報に迫ることが可能となります（#プログレッシブディスクロージャー）。

特に本サービスの特徴から、ユーザーにシンプルに利用してもらうためにも有効と考えます。

表示された選択肢での操作

スマートデバイスにおいて、ドロップダウンの操作は複雑となります。選択肢が限られる場合は(レイアウト上の制約が少なければ)選択肢を表示し、シンプルなタップ操作にて選択を行うことをご提案します。

2.4 デザイン施策



ユーザーの理解をサポート

入力に関する補足情報はヘルプマークのタップで簡単に表示/非表示するコントロールとしております。画面上の情報量を可能な限り抑制し、シンプルな情報表示としております。また、補足情報によりユーザーの理解をサポートでき、シミュレーションの操作ミスやページ離脱を防ぐ効果も期待することができます。

2.4 デザイン施策

項目を分かりやすく表示

計算で利用される項目を年金の種類ごとに異なる背景色を用いることで、情報のグルーピングを明示します。

※「文字」を併記し色に依存した情報提供を回避し、色覚特性を持つ利用者への配慮を実施

また、「ねんきん定期便」はがきにおける ” (a) + (b) + (c) + (d) ” という表現から、” 国民年金 + 厚生年金保険年金 + 船員保険 + 合算対象期間等 ” の記載に変更することで、「ねんきん定期便」が手元のないユーザーに対しても (Webから直接訪れたユーザーに対しても)、違和感なく確認を行うことができます。

国民年金 (a)			船員保険 (c)	年金加入期間 合計 (未納月数を除く) (a + b + c)	合算対象期間等 (d)	受給資格期間 (a+b+c+d)
第1号被保険者 (未納月数を除く)	第3号被保険者	国民年金 計 (未納月数を除く)				
月	月	月	月			
厚生年金保険 (b)				月	月	月
一般厚生年金	公務員厚生年金	私学共済厚生年金	厚生年金保険 計			
月	月	月	月			

「ねんきん定期便」はがきの記載の例

国民年金合計 2年0月

厚生年金保険 ⑦

一般厚生年金 18年 0月
公務員厚生年金 0年 0月
私学共済厚生年金 0年 0月

船員保険

船員保険 0年 0月

国民年金 + 厚生年金保険 + 船員保険
年金加入期間合計 20年0月

合算対象期間等 ⑦

合算対象期間等 0年 0月

国民年金 + 厚生年金保険 + 船員保険 +
合算対象期間等
受給資格期間 ⑦ 20年0月

2.4 デザイン施策

ユニバーサルデザインへの配慮

本Webサイトでのユーザーに対する配慮の例は以下の通りです。

ロービジョン(弱視) ユーザーへの可読性確保

Webアクセシビリティの規格

「JISX8341-3:2016」では中度のロービジョンの人が適切に文字を読みやすくするためには背景色と文字色のコントラスト比を4.5以上を確保することが記載されています。

本Webサイトにおいても、上記の指針に則ってカラースキームを設計します。

これまでの年金情報を確認できます。

コントラスト比：1.88



これまでの年金情報を確認できます。

コントラスト比：11.7



色に依存した 情報提供の回避

画面内の操作には色情報に依存した情報提供は避け、「形」「大きさ」「文字情報」と合わせて表現を行います。

JISX8341-3:2016 G111: 色とパターンを併用する
<https://waic.jp/docs/WCAG-TECHS/G111.html>

金額は異なる場合があります。
合には、ねんきんネットをご利用ください。



金額は異なる場合があります。
合には、ねんきんネットをご利用ください。



リンク項目に関する下線の表示

色弱者に判別できない 色の組み合わせは用いない

グラフ等、色を組み合わせが必要な場合は色弱者が区別できないような色の配色を避け、判別可能は配色を行います。



「東京都カラーユニバーサルデザイン」から一部引用
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kiban/machizukuri/kanren/color.files/colorudguideline.pdf>